



## Product Concept 製品コンセプト

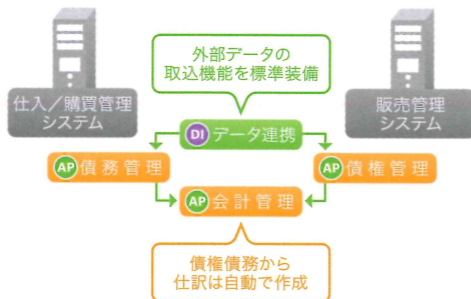
### ■ 海外拠点でも無理なく使える

A.S.I.A. GPはできるだけ低コストで導入し、低負荷で運用できるよう、コンパクトなERPを目指して開発されています。様々な言語での利用が可能な多言語機能、異なる通貨、入力通貨から基準通貨への自動換算処理を行う多通貨機能、現地用/日本用や一般会計/管理会計用といった異なる目的の元帳を複数対応できる多基準管理機能など、海外利用に必要な機能をフル装備しています。



### ■ 会計業務だけでなく、販売/購買・在庫の管理にも対応

A.S.I.A. GPは、会計管理だけでなく販売管理・購買管理・在庫管理の機能もあり、全ての業務の情報を統合するシステムとして利用することができます。A.S.I.A. GPでは、受注や発注の情報が債権や債務の情報に連動し、最終的に仕訳データとして記録されますので、今まで債権債務の管理がうまくできていなかった海外拠点でも正確な売掛金/買掛金の残高や決済状況を多通貨で把握することが出来ます。もちろん今あるシステムを利用してA.S.I.A. GPを海外拠点の会計システムとして使うこともできます。



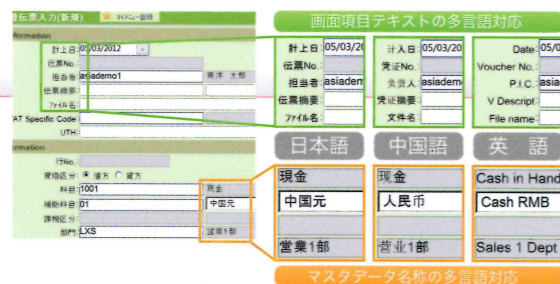
### ■ IFRS / J-SOX Ready

A.S.I.A. GPは、IFRS(国際財務報告基準)や内部統制対応に有効な各種機能を装備しており、欧州、アジアの海外子会社のIFRS対応や、日本からのコントロールが難しい海外拠点のガバナンス構築に有効です。

## Feature of A.S.I.A. A.S.I.A.の特長

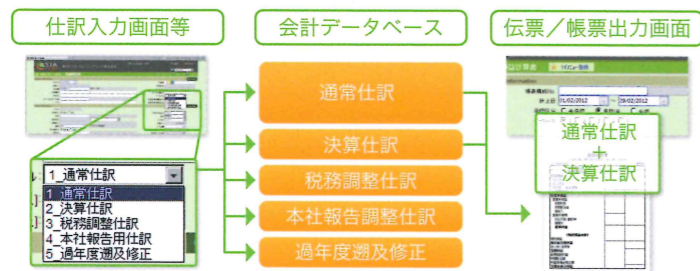
### ■ 多言語での利用

A.S.I.A.GPでは、世界中の様々な言語をサポートしています。1システムで複数言語に切替利用が可能です。画面表示だけでなく、日時様式の切替や、レポートも多言語、多文化対応が可能です。



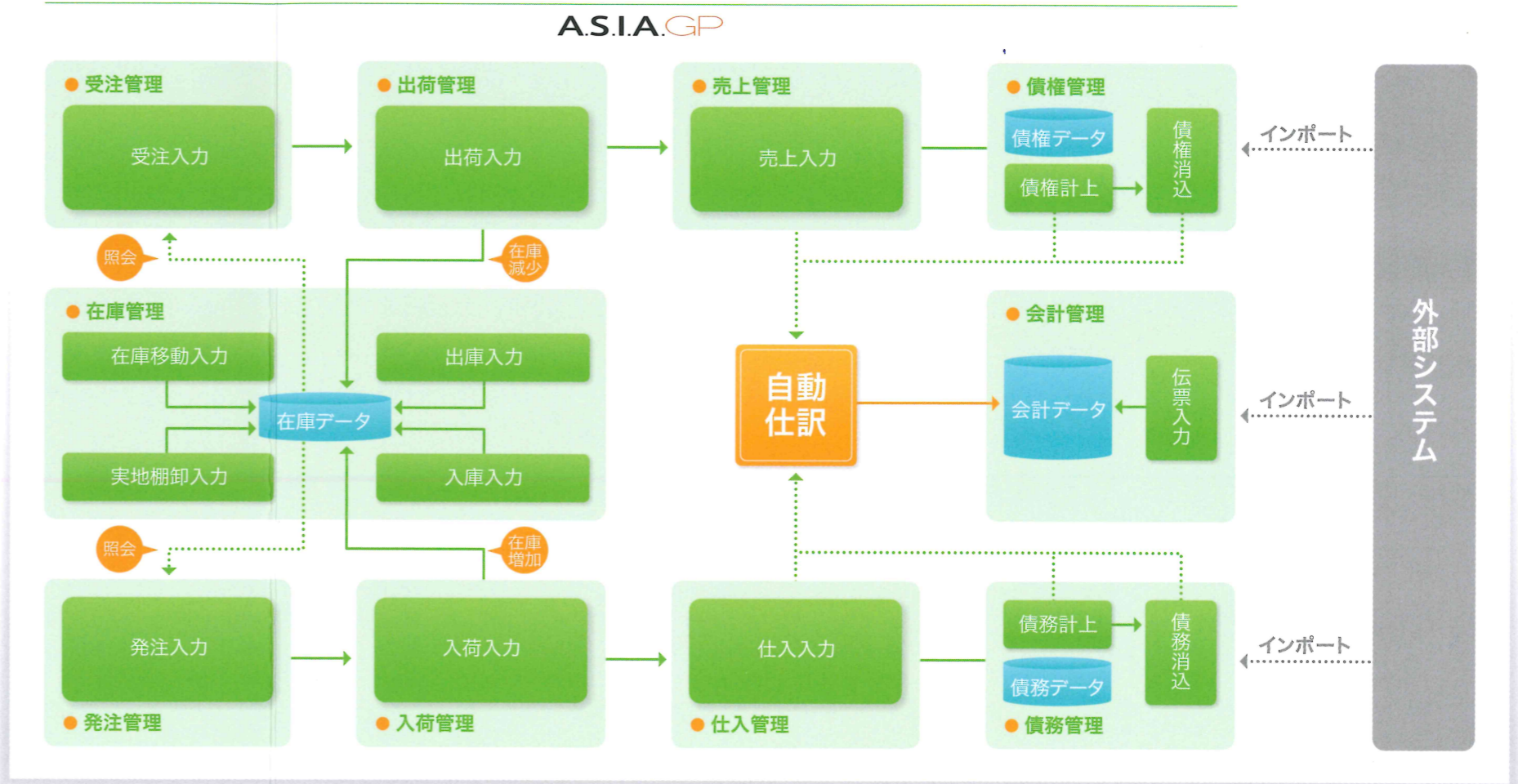
### ■ 多基準の会計データ管理

用途の異なる仕訳を個別に管理/集計する機能を搭載しています。現地会計用、IFRS用、連結用など異なる用途の組替データを5種類まで管理、出力することができ、本機能により過年度遡及修正にも対応することが可能です。



### ■ 多通貨の処理

A.S.I.A. GPでは、世界各国の通貨を制限なく管理することができ、外貨建取引から生じる為替差損益の把握が可能です。また、レートタイプ別・日別でレート情報を管理することができ、A.S.I.A. GPでは為替毎に日単位で10種類のレートタイプ、換算レートを管理できます。



## A.S.I.A. GPの充実した機能

### ■ クラウド利用が可能なWeb型システム

物理的な距離がある海外法人の情報システム資産の管理は情報システム管理担当者の悩みの種です。A.S.I.A. GPは複数の法人を1システムで管理できるWebベースのアプリケーション。サーバーを日本で集中管理でき、海外現地ではWebブラウザとインターネット環境さえあればERPを利用可能。もう各地に分散したバラバラの情報システム資産の面倒を見る必要はありません。



### ■ 債権債務管理

A.S.I.A. GPの会計版では、一般会計だけでなく、債権債務管理も含まれます。これまで債権債務管理をうまく行えていない海外拠点でも、多通貨での債権債務でも売掛金、買掛金の管理が正しく行うことができます。

### ■ 豊富なユーザ定義項目

フリー項目を多数用意しています。運用方法にあわせて項目名を変更したり、入力必須としたり、各レポートの分析キーにするなど様々な用途で使用でき、債権債務の年度別管理も可能です。

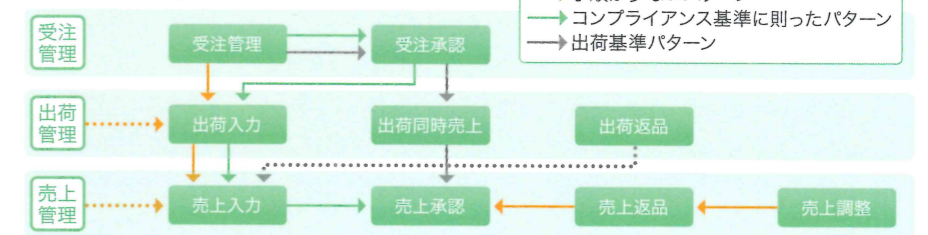
### ■ 分析用の財務諸表を用意

A.S.I.A. GPでは、予算と前年度実績との比較や、部門別/取引先別/プロジェクト別など分析用に様々な様式で財務諸表を出力することができます。

### ■ 柔軟な運用フロー構築が可能

たとえば受注の承認ステップや、引当処理の追加、購買時にイントランジット管理の追加など、ノンカスタマイズで柔軟に運用フローを構築することができます。

#### ● 販売機能での例



### ■ データ入力時に参照できる項目多数

受注入力画面には、与信/在庫/単価/原価の確認ボタンが配置されており、各情報を参照しながら、受注入力を行うことができます。

### ■ 単価管理機能

販売/購買単価は、品目/取引先/通貨/期間/荷姿単位別に登録できます。登録された単価のデータ入力時の変更可否や、請求時に再取得するかなどの設定ができます。

### ■ 在庫評価計算

A.S.I.A. GPは総平均法/移動平均法/標準原価法/先入先出法に対応しており、お客様の会計処理にあわせて、在庫評価計算方式を品目別に設定することができます。また在庫調整機能により、実在庫数量や市場価格との差異を調整が可能です。